

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	子ども教育学科		
科目名称 [英語名称]	図画工作演習 [Seminar in Art and Handicraft]			実務経験 教員担当	○	アクティブ ラーニング	○
科目コード	750078	授業形態	演習	単位数	1	配当学年	3年次
教員氏名	園田 博一			学位授与の方針 との関連	DP1(1) DP1(2) DP2(1) DP3(2) DP3(4)		
授業概要	<p>児童期の造形表現の特質を理解し、豊かな表現を援助するために、指導者に必要とされる基本的な知識や技能を具体的な作品制作を通して学ぶ。パス類、アクリル絵の具、版画材、紙粘土などの表現素材を使い、それらの特性を生かした造形表現の楽しさを学ぶ。その体験から子どもに対する援助力を高める。特にコラージュ技法に取り組み、教育現場に生かせるように技法の習熟を図る。現場で自身の様々な対応能力が発揮できるようスキルを身に付けるために自主性ある演習として捉えたい。演習のまとめとして、学内のオープンスペースを利用した空間づくりに取り組む。</p>						
関連する科目	保育内容指導法(造形表現) 教科教育法(図画工作)						
授業の進め方と方法	この科目は制作実習を中心として行われる。教育現場で実際に役立つノウハウを取得する。実習の中で感性や感覚を体験する。テーマ決定、アイデアスケッチ、着色、コラージュ技法などの一連の流れを体験できる。制作過程を身に付けたい。						
授業計画	<p>第1回:オリエンテーション 演習授業について  第2回:もの作りの実技指導と教師の役割について、演習の実際  第3回:絵を描く環境づくりと工作演習 道具材料について ①  第4回:絵を描く環境づくりと工作演習 道具材料について ②  第5回:テーマ別課題制作 アイデアスケッチ、ラフスケッチ、エスキースについて  第6回:テーマ別課題制作 実際について  第7回:共同制作(コラージュ技法を使って)  第8回:共同制作(コラージュ技法を使って表現と計画)  第9回:共同制作(コラージュ技法 1)  第10回:共同制作(コラージュ技法 2)  第11回:共同制作(コラージュ技法 3)  第12回:共同制作(大学内のオープンスペースで装飾演習 1)  第13回:共同制作(大学内のオープンスペースで装飾演習 2)  第14回:共同制作(大学内のオープンスペースで装飾演習 3)  第15回:講評会、演習のまとめ、レポート課題の整理)</p>						
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児期の造形表現の理解と、指導上の観察力と援助力を身に付ける。</li> <li>・演習を通して発想力、創作力を高め、授業現場で子どもの理解と指導力の向上を図る。</li> <li>・イメージから実際の作品に具体化していくことで、教育現場で身に付けた力を発揮できる技術を磨く。</li> </ul>						
授業時間外の学修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習に関する時間を有効に使うために、基本的なデッサンは自宅でも実施すること。日頃からアイデアや参考資料の収集を行うこと。学外での展覧会などを積極的に鑑賞すること。</li> </ul>						
課題に対するフィードバック	アイデアスケッチからの取り組みの流れを重視する。グループ制作では個人の参加の在り方を実践評価とし個人評価に組み込む。	評価方法	実技課題への取り組み、課題提出の評価、レポートや提出物の採点によって評価 授業中の参加態度40%、提出課題30%、実践レポート30%とする。				
テキスト	すべての感覚を駆使してわかる乳幼児の造形表現 平田智久 小野和 編著 保育出版社:1905円						
参考書	<p>参考資料は抜粋要約してプリントを配布する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『幼稚園教育要領』:文部科学省 『保育所保育指針』:厚生労働省</li> <li>・小学校学習指導要領解説 図画工作編 :文部科学省 100円</li> </ul>						
備考	※受講生は、実技演習ができる服装が望ましい。(準備内容については、事前に予告する。)						